

新たな総合計画「長期ビジョン編」及び「中期プラン編」素案について

策定の趣旨

本格的な人口減少社会の到来やグローバル化の進展など、徳島県を取り巻く環境が大きく変化する中、本県の現状や今後の課題を的確に把握し、目指すべき将来像を描くため、

- ・今世紀の折り返しとなる2050年頃を展望した「長期ビジョン編」
- ・手の届く未来である10年程度先を見据えた「中期プラン編」
- ・当面取り組むべき4年間の主要施策をまとめた「行動計画編」

の三層構造により、新たな県政運営指針となる「総合計画」を策定する。

素案の概要

「長期ビジョン編」（※資料2-2）

- 1 時代の潮流（世界～日本～徳島）
- 2 県民意識とニーズ
- 3 将来ビジョン（2050年頃の姿）
 - （1）世界へ発信「笑顔のTOKUSHIMA」
 - （2）世界に誇る「強靱なTOKUSHIMA」
 - （3）世界とつながる「創造のTOKUSHIMA」

「中期プラン編」（※資料2-3）

<目指すべき姿と主な施策の方向性>

- I みんなが輝くとくしまの創造
- II 安全安心とくしまの創造
- III 環境先進とくしまの創造
- IV 経済好循環とくしまの創造
- V 世界へはばたくとくしまの創造

今後の予定

平成26年度

12月16日 県議会12月定例会・総務委員会へ素案の報告

平成27年度

4～6月 「総合計画審議会」で総合計画全体（長期ビジョン編・中期プラン編・行動計画編）の審議

5～6月 パブリックコメントの実施

6月 県議会6月定例会に議案として提出（議決により策定）